

## タイの就活事情

サワディーカー。AAPの真井です。今回はタイ人学生の卒業と就職活動、新貨幣発行についてレポートいたします。

### 就活はいつから始まる？

日本では大学3年生から会社説明会やインターンシップなどに参加、4年生になると採用面接開始、その後内定をもらい、3月の卒業式（学位授与式）を経て、4月入社というパターンが一般的ですが、タイでは卒業時期にばらつきがあります。4月から6月の間に卒業するケースが比較的多いですが、8月や12月に卒業を設定している大学もあります。

また、日本の大学では就職をサポートする窓口が設置されていることが多く、在籍中に就職活動等の相談をすることができますが、タイの大学には学生のサポートをする窓口は設けられていません。タイでは、卒業前から就職活動をしている学生を見かけることは少なく、卒業後に就職活動を始めるのが一般的です。卒業後すぐに就職活動を始めるケースもありますが、すぐに就職活動を始めず、帰郷したり旅行したりとゆっくり過ごしてから始めるケースも多くみられます。そのため、卒業時期より数カ月から1年経っていることも珍しくありません。このように卒業時期、就職活動開始時期が個人によって違うため、新卒求職者の定義が日本とは異なっていると言えます。新卒入社の時期がほぼ決まっている日本人からすると、タイの学生は就職に対してそれほど焦っていない印象を受けるかもしれません。

### 卒業式が行われる時期

大学の卒業式では王室の関係者から直々に卒業証書が授与されるため、卒業式の日程は王室のスケジュールによって決まります。大学の卒業と同時に卒業式が行われることはなく、日程が決まった段階で大学側から通知されます。場合によっては1年後に卒業式が行われることもあります。卒業式は王室の関係者と接することができる大切な行事であることから、卒業証書授与のための周到なリハーサルは1~2日間をかけて行われ、ひとくちで卒業式といっても当日を含めると3日間程度を要することになります。そのため、新卒者を採用した場合は、卒業式参加のための有給休暇を与える企業も少なくありません。法律では無給休暇にすることに何の問題もありませんが、そのことが原因でせっかく雇った優秀な人材が辞めていくという話も聞きます。



額縁に飾られた卒業証書授与の瞬間  
(次女シリントン王女より)

テレビ中継にて放送された卒業証書授与の様子  
(三女チュラポーン王女より)

友人たちと卒業記念撮影

# ラマ 10 世の新貨幣

## ワチラロンコーン国王

タイ中央銀行は 2018 年 3 月にラマ 10 世（ワチラロンコーン国王）の肖像が描かれた 17 様式目の新紙幣（※1）を発行すると発表しました。表にはすべてラマ 10 世、裏には歴代の国王が 2 人ずつ印刷されています。500・1000 Baht 札はワチラロンコーン国王の 66 歳の誕生日である 7 月 28 日に流通を開始したばかりですが、20・50・100 Baht 札は 4 月 6 日から流通を開始しているため、ラマ 9 世の紙幣に交じって少しずつ見かけるようになってきています。

同じく 4 月 6 日にロイヤルタイ造幣局より、一般に流通されない 10・5・1 Satang を含めた全 9 種類の新硬貨（※2）が発行されました。表はすべてラマ 10 世、裏はラマ 10 世のシンボルマークが描かれています。



※1 タイ中央銀行

- ラマ 1 世とラマ 2 世 (緑) 20Baht
- ラマ 3 世とラマ 4 世 (青) 50Baht
- ラマ 5 世とラマ 6 世 (赤) 100Baht
- ラマ 7 世とラマ 8 世 (紫) 500Baht
- ラマ 9 世とラマ 10 世 (金) 1000Baht



※2 BECTERO. TV

- 1 段目 (左) 10Baht (右) 5Baht
- 2 段目 (左) 2Baht (右) 1Baht
- 3 段目 (左) 50Satang (右) 25Satang
- 4 段目 (左) 10Satang (中) 5Satang (右) 1Satang

**岡山県タイビジネスサポートデスク**  
**Asia Alliance Partner Co.,Ltd.**

所在地 : 1Glas Haus Building,12<sup>th</sup> Floor and Room 502,5<sup>th</sup> Floor,Soi sukhumvit 25,  
 Sukhumvit Rd.,Klongtoey Nua,Wattana,Bangkok 10110 Thailand

担 当 : 真井 さやか (まい さやか)

「岡山県タイビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のタイでの事業展開を支援しています（岡山県から Asia Alliance Partner Co.,Ltd. に業務を委託）。

ご利用に当たっては、「岡山県タイビジネスサポートデスク」利用の手引きをご覧のうえ、岡山県産業企画課マーケティング推進室（電話 086-226-7365）までご相談ください。